

単元まとめテスト

(1) 年生 第(1)章 (正の数・負の数)

氏名 ()

1

下の数について、次の問いに答えなさい。

-2 , 3 , $-\frac{1}{3}$, 2 , $\frac{4}{5}$, 0 , -0.5 , -4

(1) 上の数のうち、自然数をすべて書きなさい。

(2) 上の数のうち、分数をすべて書きなさい。

/ 45問

2

次の問いに答えなさい。

(1) 絶対値が5になる数をすべて書きなさい。

(2) 絶対値が3より小さい整数をすべて書きなさい。

3

次の問いに答えなさい。

(1) 0 と -4 の大小関係を不等号を使って表しなさい。

(2) -0.1 と -0.01 の大小関係を不等号を使って表しなさい。

(3) -0.3 と $-\frac{2}{7}$ の大小関係を不等号を使って表しなさい。

(4) -4.5 より小さい整数の中で、もっとも大きい整数を求めなさい。

4

次の計算をなさい。

(1) $(-7) + 4$

(2) $(-75) + 26$

(3) $(-2) - 6$

(4) $35 - 43$

(5) $(-5) + (-10)$

(6) $(-57) + (-18)$

(7) $(-7) - (-5)$

(8) $15 - (-28)$

(9) $4.2 - 9.1$

(10) $\frac{1}{5} - \left(-\frac{3}{5}\right)$

(11) $\frac{1}{12} - \frac{5}{12}$

(12) $\left(-\frac{1}{2}\right) - \left(-\frac{1}{3}\right)$

5

次の計算をなさい。

(1) $-7 - 12 + 3$

(2) $-8 - (-7) + (-5)$

(3) $17 - (-8) - 19 + 23$

(4) $-\frac{3}{4} + \frac{1}{6} - \frac{1}{2}$

6

次の計算をなさい。

(1) $(-8) \times 7$

(2) $6 \times (-3)$

(3) $(-7) \times (-11)$

(4) $(-54) \div 9$

(5) $(-72) \div (-8)$

(6) $0 \div (-3)$

(7) $\left(-\frac{2}{3}\right) \times 6$

(8) $\left(-\frac{1}{2}\right) \times \left(-\frac{5}{4}\right)$

(9) $3 \div \left(-\frac{6}{7}\right)$

(10) $\frac{5}{6} \div \left(-\frac{10}{3}\right)$

7

次の計算をなさい。

(1) $(-2) \times (-3) \times (-4)$

(2) $(-100) \div (-5) \times (-4)$

(3) $(-24) \div (-4) \div (-3)$

(4) $-4^2 \div (-2)^3$

8

次の計算をなさい。

(1) $9+3\times(-4)$

(2) $(-3)\times 12+48\div(-8)$

(3) $3-\{4-(2-5)\times 6\}$

(4) $8-7\times(-3)^2-12$

(5) $\frac{1}{3}+\left(-\frac{3}{4}\right)\div\frac{1}{2}$

9

下の表は、A、B、C、D、E、Fの5人のテストの点数からCの点数をひいた値を表したものです。

この表について、次の問いに答えなさい。

A	B	C	D	E	F
+5	-3	0	-9	+11	+8

(1) AとBの点数の差を求めなさい。

(2) 6人の平均点は76点でした。このとき、Fの点数を求めなさい。

単元まとめテスト

(1) 年生 第(1)章(正の数・負の数)

氏名 ()

1

下の数について、次の問いに答えなさい。

$-2, 3, -\frac{1}{3}, 2, \frac{4}{5}, 0, -0.5, -4$

(1) 上の数のうち、自然数をすべて書きなさい。

3, 2 //

(2) 上の数のうち、分数をすべて書きなさい。

$-\frac{1}{3}, \frac{4}{5}$ //

/45問

Point

- ① 自然数 ... 正の整数
※ 0 は 自然数 ではない。
- ② 分数 には 「負の数」 も含まれる。

2

次の問いに答えなさい。

(1) 絶対値が5になる数をすべて書きなさい。

5, -5 //

(2) 絶対値が3より小さい整数をすべて書きなさい。

-2, -1, 0, 1, 2 //

Point

- ① 絶対値 ... 数直線 上では 0からの距離 を表す。
- ② 大小比較 ... 「より」 は その数 を含まない。

3

次の問いに答えなさい。

(1) 0 と -4 の大小関係を不等号を使って表しなさい。

(1)

$0 > -4$

または

$-4 < 0$

(2) -0.1 と -0.01 の大小関係を不等号を使って表しなさい。

(3) -0.3 と $-\frac{2}{7}$ の大小関係を不等号を使って表しなさい。

(4) -4.5 より小さい整数の中で、もっとも大きい整数を求めなさい。

(2) $-0.1 < -0.01$ //

Point

小数 か 分数 に 変えろと 比較 しやうい。

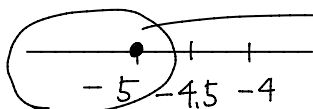
(3) $-0.3 = -\frac{3}{10}$

$-\frac{3}{10} = -\frac{21}{70} < -\frac{2}{7} = -\frac{20}{70}$ $-\frac{3}{10} < -\frac{2}{7}$ //

Point

0に近い数の方が 大きくなる。

(4)



-5 //

この範囲で もっとも大きい 整数 が 答

4

次の計算をなさい。

(1) $(-7) + 4$

$= -7 + 4 = -3$

(2) $(-75) + 26$

$= -75 + 26$
 $= -49$

(3) $(-2) - 6$

$= -2 - 6 = -8$

(4) $35 - 43$

$= -8$

(5) $(-5) + (-10)$

$= -5 - 10 = -15$

(6) $(-57) + (-18)$

$= -57 - 18$
 $= -75$

(7) $(-7) - (-5)$

$= -7 + 5 = -2$

(8) $15 - (-28)$

$= 15 + 28$
 $= 43$

(9) $4.2 - 9.1$

$= -4.9$

(10) $\frac{1}{5} - \left(-\frac{3}{5}\right)$

$= \frac{1}{5} + \frac{3}{5}$
 $= \frac{4}{5}$

(11) $\frac{1}{12} - \frac{5}{12}$

$= -\frac{4}{12} = -\frac{1}{3}$

(12) $\left(-\frac{1}{2}\right) - \left(-\frac{1}{3}\right)$

$= -\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$
 $= -\frac{3}{6} + \frac{2}{6} = -\frac{1}{6}$

5

次の計算をなさい。

(1) $-7 - 12 + 3$

$= -19 + 3$

$= -16$

(2) $-8 - (-7) + (-5)$

$= -8 + 7 - 5$

$= -1 - 5$

$= -6$

(3) $17 - (-8) - 19 + 23$

$= 17 + 8 - 19 + 23$

$= 25 - 19 + 23$

$= 6 + 23$

$= 29$

(4) $-\frac{3}{4} + \frac{1}{6} - \frac{1}{2}$

$= -\frac{9}{12} + \frac{2}{12} - \frac{6}{12}$

$= -\frac{7}{12} - \frac{6}{12}$

$= -\frac{13}{12}$

Point

① () を外す。

② 前から順に
2項ずつ
計算していく。

6

次の計算をなさい。

$$(1) (-8) \times 7 = \underline{-56} \quad (2) 6 \times (-3) = \underline{-18}$$

$$(3) (-7) \times (-11) = \underline{77} \quad (4) (-54) \div 9 = \underline{-6}$$

$$(5) (-72) \div (-8) = \underline{9} \quad (6) 0 \div (-3) = \underline{0}$$

$$(7) \left(-\frac{2}{3}\right) \times \frac{6}{1} = \underline{-4} \quad (8) \left(-\frac{1}{2}\right) \times \left(-\frac{5}{4}\right) = \underline{\frac{5}{8}}$$

$$(9) 3 \div \left(-\frac{6}{7}\right) = 3 \times \left(-\frac{7}{6}\right) = \underline{-\frac{7}{2}} \quad (10) \frac{5}{6} \div \left(-\frac{10}{3}\right) = \frac{5}{6} \times \left(-\frac{3}{10}\right) = \underline{-\frac{1}{4}}$$

Point

分数の割り算は
暗算ではミスが
多くなるので

「逆数」をかけて
約分で進めよう。

7

次の計算をなさい。

$$(1) (-2) \times (-3) \times (-4) = 6 \times (-4) = \underline{-24} \quad (2) (-100) \div (-5) \times (-4) = 20 \times (-4) = \underline{-80}$$

Point

$\times, \div$ が混ざった
計算は前から
順番に計算すれば
まちがえない。

$$(3) (-24) \div (-4) \div (-3) = 6 \div (-3) = \underline{-2} \quad (4) -4^2 \div (-2)^3 = -(4 \times 4) \div \{(-2) \times (-2) \times (-2)\} = -16 \div (-8) = \underline{2}$$

8

次の計算をなさい。

(1) $9 + 3 \times (-4)$

$$= 9 + (-12)$$

$$= 9 - 12 = -3$$

(2) $(-3) \times 12 + 48 \div (-8)$

$$= -36 + (-6)$$

$$= -36 - 6$$

$$= -42$$

(3) $3 - \{4 - (2 - 5) \times 6\}$

$$= 3 - \{4 - (-3) \times 6\}$$

$$= 3 - \{4 - (-18)\}$$

$$= 3 - 22 = -19$$

(4) $8 - 7 \times (-3)^2 - 12$

$$= 8 - (7 \times 9) - 12$$

$$= 8 - 63 - 12$$

$$= -55 - 12$$

$$= -67$$

(5) $\frac{1}{3} + \left(-\frac{3}{4}\right) \div \frac{1}{2}$

$$= \frac{1}{3} + \left(-\frac{3}{4}\right) \times \frac{2}{1}$$

$$= \frac{1}{3} - \frac{3}{2}$$

$$= \frac{2}{6} - \frac{9}{6}$$

$$= -\frac{7}{6}$$

Point

×や÷だけで
まとまっているとこで
計算する。

○ + □
○ - □

で最後に計算

9

下の表は、A、B、C、D、E、Fの5人のテストの点数

から C の点数をひいた値を表したものです。

この表について、次の問いに答えなさい。

A	B	C	D	E	F
+5	-3	0	-9	+11	+8

(1) A と B の点数の差を求めなさい。

A

↑ +5

基準

-3 ↓

B

なので 8点

(2) 6 人の平均点は 76 点でした。このとき、F の点数を求めなさい。

C の点数からの差の平均を求めると

$$\frac{5 + (-3) + 0 + (-9) + (+11) + (+8)}{6} = 2$$

基準 C から +2点
が平均点 76点

↓

↑ +8点

..... Fの点 ← 求める値

..... 平均 76

..... 基準 C 74

$$74 + 8 = 82点$$